

Library NEWS

～図書館だより～
令和7年度 晃陽中学校図書館

入学・進級おめでとうございます。新しい1年のスタートです。晃陽中図書館では、本との出会いを通じて、みなさんが大きく成長するためのお手伝いをしていきたいと考えています。

☆図書館の利用について☆

今年度も、全学年オリエンテーションを受けてから貸出しが始まりました。利用するときのマナーや注意点、ワンランク上の図書の利用の仕方を覚え、楽しい読書をする1年にしましょう。

- 【貸出時間】
 - 2時間目後の休み時間
 - 昼休み
- 【貸出冊数】
ひとり5冊まで
- 【貸出期間】
1週間以内



*どなたでも本の予約やリクエストができます。
*みんなでマナーを守って気持ちよく利用しましょう。

巡回図書もスタートしました。

学校図書館には無い本を読みたい人は、ぜひ巡回図書を手に取ってみてください。リクエストもお待ちしています。

学校司書より



みなさんの好きな本や、興味があることをたくさん教えてください。リクエストも受け付けています。毎日皆さんをお待ちしていますので、気軽にのぞきにきてください。

読書しよう！

読書は、直接体験できないことを体験したり、知識や教養をふやしたり、娯楽として楽しんだりして、生活をより豊かにしてくれるものです。日本では江戸時代に入るまでは読書ができるのは貴族や大名などの上流階級に限られていたそうです。(『ポプラディア』ポプラ社より)
朝の読書はもちろん、たくさん本を読みましよう！



朝の読書の様子

朝の読書は心を落ち着かせ、集中力をアップさせることができますと言われています。



昨年度よりもたくさん本を読む！シリーズものを読破する！など、今年度の読書目標を立ててみましょう。心にたくさん栄養をあげて、さらに知識を身に付けましょう。



期待と不安が入り混じるこの季節にぴったりの本を紹介します。



『中学時代にしておく 50 のこと』

中谷 彰宏：著 PHP 研究所

著者が自分の中学時代を振り返り、学校生活を前向きに過ごすためのコツを伝えています。苦手なことも工夫次第で楽しめることや、“友達”の本当の意義などに気付かせてくれます。

かけがえのない中学時代を充実させるヒントがいっぱいです。



『光村ライブラリー中学校編朝のリレーほか』

光村図書出版

地球上では毎日どこかで夜が始まると、朝になる国があって、それをリレーして1日が始まっています。始まりの時期にぴったりの谷川俊太郎の詩です。その他に、『野原はうたう』『あどけない話』など42編が集められています。



その他、図書館廊下におすすめの本の紹介があります。自分に合った本に出会うためには、たくさん本と触れ合うことがいちばんです。「本屋大賞」や「芥川賞」「直木賞」「宇都宮市こども賞」の本もたくさんそろっています。図書館に来てください。



『成瀬は天下を取りに行く』

宮島 未奈：著 新潮社

「成瀬がまた変なことを言い出した」。友人のみゆきは幼稚園の時からちょっと、いや、だいぶ変わっている成瀬を見てきました。第1話は、コロナ禍に閉店してしまう西武大津店をめぐる、天下をとれるかもしれない成瀬のある夏の行動の物語です。成瀬が常識にとらわれず、思った道をつき進んでいくことが痛快です。



図書学芸委員会活動開始

1年生から3年生まで、計21名の委員が決定しました。毎日のカウンター当番や学級文庫の管理などのほか、さまざまなイベントを企画し、読書活動を活発にするために頑張っていきます。



生徒朝会で委員長任命式がありました。



委員長と副委員長2名が決まりました

楽しく読書をするこ
と、試験前の自習室の活用を
活発にするこ
を目標としました。

2階と3階の階段の間にある図書学芸委員会掲示板や、図書室廊下のディスプレイなどに、図書委員がお知らせや、おすすめの本などを掲示しますので見てくださいね！